



ふくおか [Good] 農業人100  
 主な農産物 / 米、麦、大豆

# 花田 正則さん (41歳) (営農地 / 中間市中底井野)

## 若手を中心に協力し合うことが大切

《就農のきっかけ》

### 兼業農家から専業農家へ

花田さんの家は、元々農家で、工業高校を卒業後、農繁期に仕事が休みやすいような土木関係の会社で働いていました。農業だけでは収入面での不安があるということから兼業農家を目指していたそうです。派遣の仕事を経験後、ちょうど辞める時期と新しく農業機械を導入する時期が一緒だったことから、両親の経営を引き継ぎ、専業農家になることを決意したそうです。

「農作業は、主に機械作業を手伝ってきました。栽培面などで基本的なことはわからなかったの、日々勉強です。どの時期に、何をするか、なぜするのか、栽培暦を見たり、父に聴いたりしながら頑張っています。」とのこと。

《これまでの過程》

### 仲間で支え合う関係づくり

「今の時期(8月下旬)は、朝5時から夜8時まで働いています。いろいろ考えながらしているけど、難しいです。雨が降ったり、やっぱり自然相手の仕事なので大変です。」と、農繁期は2週間で1か月分くらいは働いている実感があるそうです。

「この地区だけで6人の若手がいるので、いろいろな話が出るし刺激合っています。収量がこれだけあるとか、これだけ稼いだとかも話しています。忙しい時期にはお互いに手伝ったりしていますし、これからも仲間で支え合う関係を続けていきたいです。誰かの大豆がよくできたら同じように作るなど、情報交換していく。いい事はみんなでやればいい。この地域みんなが頑張れば良くなればいい。」と、地域や仲間を大切にしていることが伝わります。



プロフィール

■家族構成 / 父、母、本人 ■前職 / 土木業 ■営農年数 / 約2年半  
 ■耕作(経営)面積 / 15ha ■販路 / JA共販

《これからの展望》

### 地域の担い手になること

「ここ5年で地域の農家数がどんどん減ると思います。若手を中心に協力し合って農地の管理をしていこうかなと思っています。面積拡大したら、従業員を入れるとか、販路(直売)についても考えないといけない。今の状況では法人にはしませんが、メリット、デメリットについてこれから十分考えていきたい。」と、今後の経営の方向について検討中だそうです。

「自分の遊ぶ時間もほしいので、週休2日制の農家が目標です。やっぱり、楽しみがないと、おもしろくないと思いますから。」と、仕事と遊びのバランスを大事にしていることがわかります。



### Good 成功のためのポイント

自分はたまたま農地を持っていました。でも、農業は、工夫しないと絶対無理。最初から無茶をしないで、自分が十分に出来る面積で始めた方がいいです。